

項目		
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	HER2 陽性乳癌に対する術前 TCbHP(ドセタキセル、カルボプラチン、トラスツズマブ、ペルツズマブ)療法の効果、副作用の後ろ向き調査
	研究目的	本邦では HER2 陽性早期乳癌の周術期治療としてアンソラサイクリン含有レジメンとタキサン、トラスツズマブ、ペルツズマブ併用療法の順次投与が多く行われてきた。アンソラサイクリン含有レジメンをタキサン、トラスツズマブ、ペルツズマブ併用療法に併用しても治療成績が向上しないとの報告があったこともあり、TCbHP 療法が徐々に使用が広まっている。しかし、アジア人はタキサン系の副作用が強く出ることが報告されており、減量を余儀なくされるケースも多い。当センター乳腺内分泌外科にて TCbHP 療法の治療を受けた患者さんの効果、副作用など調査する。
	研究対象者	2020年1月から2022年6月に当センター乳腺内分泌外科にてTCbHP(ドセタキセル、カルボプラチン、トラスツズマブ、ペルツズマブ)療法の治療を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2022 年 7 月 4 日 ~ 西暦 2024 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	乳腺内分泌外科 山下年成
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	乳腺内分泌外科
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	神奈川立がんセンター 乳腺内分泌外科 山下年成 〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾 2-3-2 TEL : 045-520-2222	